

34 重ね続ける

今年度から8時10分8時20分までの10分間を登校時間とさせていただきました。朝、3か所ある校門の近くに登校見守りとして立っています。子どもたちの登校見守りが表の目的なのですが、個人的な裏の目的があります。それは子どもたちから元気をもらうこと。「おはようございます」のたった一言のやりとりではありますが、この一言が私に元気を与えてくれます。晴れの日でも雨の日でも、子どもたちからの声は大いなる「ビタミンI(愛)」(ちょっと大げさでしょうか…)になります。

校門付近では、通勤通学途中の地域の方にもお会いします。徒歩・自転車・バイク皆さん様々ですが、校門に立ち始めたころは「おはようございます」と声をかけても「ん？だれだ？」という表情をされていた方も徐々に学校の職員という認識をお持ちになったのでしょうか、お声を返してくださったり、会釈をしてくださったりする方が増えました。子どもたちの声にプラスして、こうした地域の方たちからも元気をいただいています。

「自分から」という子どもたちとの約束をしていますが、それもやはり続け重ねていくことが大切なんだということ、子どもたちや地域の皆様から教えていただきました。